

# 東京農工大学 ニュースレター

## 初夏号

地球をまわそう。MORE SENSE! 農工大



## 東京農工大学関連団体のご紹介

東京農工大学消費生活協同組合  
農工大ティー・エル・オー株式会社



- 第2期中期目標・中期計画について
- 農工大ブランド焼酎「賞典禄」について
- キャンパスツアー2010
- 大学からのお知らせ

# 東京農工大学消費生活協同組合

毎日の学生生活を福利厚生面で支える「生協」こと、東京農工大学消費生活協同組合。文房具や日用品、書籍の販売をはじめ、食堂の運営、旅行や自動車教習所の手配、さらには各種資格の支援講座の開設など、多岐にわたる分野をサポートし、学生たちに「なくてはならない存在」として受け入れられています。今回は農工大生協の理事長を務める農学部環境資源科学科の佐藤敬一准教授と、専務理事の窪田力氏に登場いただき、農工大生協の歴史や現状、そして新たな取り組みについて、お話を伺いました。

取材日／2010年5月10日

——50年を超える長い歴史を誇る東京農工大学消費生活協同組合ですが、まずはその歴史について教えてください。

佐藤 「東京農工大学消費生活協同組合」が生まれたのは1954(昭和29)年で、東京都内でもかなり早い段階で誕生した大学生協のひとつです。それ以前の1936(昭和11)年には前身にあたる「購買部」が学友会(当時の学生が作った自治組織)によって設立されていますので、戦前から長きにわたって農工大の学生を支えてきたと言えます。大学生協は、大学とともに学生たちに福利厚生面を提供する立場にあると認識していますので、学生から「キャンパスに生協がなければ困る」と思われる存在であり続けたいですね。



東京農工大学消費生活協同組合

理事長 佐藤 敬一

(農学部環境資源科学科 生活環境教育研究分野 准教授)

東京農工大学消費生活協同組合

専務理事 窪田 力

——生協の仕組みや組織の運営について教えてください。

佐藤 ご存知の通り生協は、組合員である皆様の出資金を元に運営しています。そのため利益が出た分は組合員の方々に還元する方式です。例えば書籍やCDの割引サービスなどがそうですね。



また少しでも効率的に運営するために、関東甲信越地区の71の大学生協が連携して「大学生協東京事業連合」を設立し、商品の企画、仕入れ、物流、経理などの事業を一括して担っています。農工大生協の場合、約97%の商品が大学生協東京事業連合からの仕入れです。少しでも個々の生協の負担を軽減し、効率的かつ効果的に成果をあげるためにも、大学生協同士での交流も積極的に実施しています。

窪田 言い換えれば、その残りの3%が農工大オリジナルの製品ということになりますね。お米や乾麺、まんじゅうなどの食品の他、各種文具品、また「生協の白石さん」と学生とのコラボで生まれたクラッチバッグなども人気です。オリジナルグッズは、学生からの要望やアイデアで生まれることも少なくないですね。



佐藤 農工大生協の運営方針は、学生と教職員から選ばれた150名前後の総代による「総代会」によって決定されます。総代会を最高意志決定機関として、その下に理事会や監事会、各店舗などが置かれますが、特



徹的なのが「組織部」の存在です。組織部は、学生委員会や環境委員会、読書推進委員会など学生たちで運営される各委員会で構成されています。大学生協にとって、主役はあくまで学生ですから、学生たちの声に対して積極的に耳を傾けるためにも、組織部の存在が必要なのです。新しい流行への対応といったものから、カリキュラム変更にもなう教材類の品揃えのタイミングなど、学生たちの意見を参考にすることは非常に多くあります。

**窪田** 農工大生協には、多くの学生たちが関わりをもってくれているので心強く感じています。単なる一方通行ではなく、生協と学生とが一緒に取り組める環境が理想的ですから。そういうえば話題になった「生協の白石さん」も、一言カードを見た学生のアイディアから始まったものでした。学生との距離感の近さが農工大生協の自慢のひとつだと思います。



——農工大生協としての新しい取り組みについて教えてください。

**佐藤** 「文房具」「書籍」「食堂」「旅行」が生協の提供する大きな分野の枠組みで、「その他のサービス」として自動車教習所や資格試験の紹介などが挙げられます。そして最近、大学からの要望もあつて新しくサービスに

取り入れたのが、公務員をめざす学生を対象にした「公務員講座」の実施です。外部のスクールに通うよりも割安で、何より学内で受講できるので好評を博しています。オススメなのでぜひ活用してもらいたいですね。

**窪田** 食堂の取り組みですが、食と健康に関心が高まる時代背景を反映し、今年の春から、購入したメニューの栄養成分がレシートに記載されるようになりました。カロリーや塩分はもちろん、栄養の働き別に分けられた赤・緑・黄の食品群ごとのバランスも表示されます。この取り組みをきっかけに、大学生協としても「食育」に関して、もっと積極的なアプローチを考えています。

**佐藤** また食堂の割り箸は、環境問題に配慮した間伐材を加工したものを使用しています。これは10年来にわたる私の研究活動から派生したのですが、知的障害を持った方々の就業支援にもつながる取り組みです。何

気なく使われている割り箸ですが、間伐材の加工工場で、知的障害者の方々が作ったものだということを知り、森林の荒廃や障害者の自立など、現代の日本が抱える諸問題に対して学生が考えるきっかけになればと考えています。



——最後に、在学生や保護者の方々にメッセージをお願いします。



**窪田** 大学生活の4年間、常に身近に感じてもらえる大学生協として、学生のみなさんの人間的な成長のお手伝いをしていきたいと考えています。公務員講座の開設もそうした取り組みの一環ですが、もっと大学生協が学生のためにできることを考え、積極的な取り組みを展開していきたいですね。

**佐藤** 私も大学で教壇に立つ立場にありますが、講義では教えられないことがたくさんあります。大学生協は、学生たちのライフスタイルに密着した組織であり、消費者という立場にある学生と関われる場所でもありません。実社会で必要となる、より実践的なものを伝えていく拠点となれば理想的です。今後も農工大生協をよろしく願っています。

# 農工大ティー・エル・オー株式会社



2001(平成13)年設立の農工大ティー・エル・オー株式会社は、大学の研究成果である「知的財産」をマネジメントすることを目的に、農工大の教職員、卒業生、同社の経営者などが出資して誕生した会社です。TLOとは「Technology Licensing Organization」の略で、大学の知的財産をマーケティング(顧客の創造)とライセンス(実施許諾)によって事業として発展させることをめざしています。同社の業務内容と農工大との関わりについて、代表取締役社長である伊藤伸氏に語っていただきました。

取材日/2010年5月10日



農工大ティー・エル・オー株式会社

代表取締役社長 伊藤 伸

——農工大ティー・エル・オー株式会社(以下、農工大TLO)の業務内容をあらためて教えてください。

数々の研究活動が行われている大学は、まさに知的財産の宝庫と呼べる環境にあります。そんな農工大で生まれた研究成果について、特許や著作権という知的

財産の形で活用していただける企業を探すなど、「大学」と「産業界」との橋渡しを務めるのが農工大TLOの仕事です。

2004(平成16)年4月の国立大学法人化を機会に、東京農工大学と業務提携基本契約を締結し、農工大が出願した特許等の知的財産のマーケティング、ライセンス活動を進めています。当社は農工大の産官学連携戦略の一翼を担う位置づけにあるわけです。研究成果をライセンスを通して産業界に広め、対価として得られた収入は、再び大学側に還元して新しい研究活動に生かしていただく。そうした理想的なサイクルでの運営を第一に考えています。

——他大学にもTLOは存在しますが、TLO業界の実情はどのようなものですか。

日本には現在、40余りのTLOが国から承認されて存在しています。取り組みに関しては、やはりアメリカが進んでいて、すでに30年以上の歴史があります。1998(平成10)年に大学等技術移転促進法が施行されてからのスタートとなった日本は、まだまだ軌道に乗る前段階と言えます。例えば、世界の最先端の研究内容であったとしても、それがそのまま企業側に受け入れられるかとなると、なかなか難しい部分があるようです。日本の企業側にTLOの理念が浸透していないことも理由ですが、ここ数年の景気の停滞も大きな要因のひとつになっています。

それでも農工大に関しては、大学を挙げて産官学連携に取り組む環境があるので、我々としては、非常にやりやすさを感じています。文部科学省が総合的な産官

学連携体制のモデル構築を目的とした「スーパー産学官連携本部」の6大学に、東京大学や京都大学とともに採択された実績があるほどですから。しかも会社の設立時に教職員の方々に出資をいただきましたが、大学に所属する約3分の1にあたる先生方に出資いただけたことは、本当に心強く感じています。これだけ本気で全学的に研究活動、産学連携に取り組んでいる大学は少ないと思いますよ。

——これまでの主な実績について聞かせてください。

農工大ならではのユニークなライセンス契約が数々生まれています。例えば、獣医学科の松田浩珍教授らが発明し当社が依頼した特許「足動解析システム」については、株式会社ノベルテックに対して独占的なライセンス契約を締結しました。これはラットなどの実験動物の歩様異常を最先端IT技術を駆使して検出するシステムですが、新薬開発や病因解明など医薬品業界に大きな貢献をもたらす技術として注目されています。

また、電気電子工学科の高木康博准教授と大日本印刷株式会社が共同で研究開発した「3次元印刷技術(Dyna Cube 3D)」は、特殊な画像処理と印刷手法により、ポスターやPOPなどの被写体が立体的に見えるという技術ですが、関連する特許を当社がライセンスしています。今後新しい広告媒体としての利が見込まれている技術です。

その他、例を挙げればキリがないのですが、すでに製品化された案件から、共同研究が現在も継続中の案件までいろいろです。当社の仕事は研究と企業を結ぶこと

にあるので、ライセンス契約を締結すれば一旦終了します。現にそれで完了の仕事もありますが、やはり大きな可能性を秘めた研究については、その後の農工大と企業との共同研究が最終的にどのような成果を生み出したのかを見届けたいわけにはいきません。そういう意味では、ライセンス契約が「スタート」になるケースも多々あるわけです。我々が結びつけたライセンスの結果が、世の中のためになり、多くの方々の幸せにつながることにこそ、農工大TLOの存在意義があると考えています。

——これからの農工大TLOの取り組みについて聞かせてください。

もちろん、これまで通りに、ひとつでも多くの「研究成果」と「産業界」を結びつけることが最大の役割です。教員の方々の元に足を運んで研究の情報を入手し、新しいことにチャレンジしたい企業を数多く見つけ出し、世の中の発展に貢献できるプロジェクトづくりに尽力していきます。

それと同時に、農工大の研究成果を利用するベンチャー企業の立ち上げの支援活動も推進したいです。画期的な発明や発見を求める企業は多くありますが、研究内容によっては企業と連携するよりも、自ら企業を立ち上げて研究をさらに深めていく方向がベターな場合もあります。そうした農工大発のベンチャー企業をライセンスや出資により積極的にサポートしていきたいとの強い思いを持っているのです。

農工大TLOが設立されたときに私は、「農工大を中心に小金井をシリコンバレーのようにしたい」と言いました。その後、時代が変わり、必ずしも期待どおりにはい

きませんでした。農工大が「最先端イノベーションの拠点」であってほしいとの考えは変わりません。ベンチャー支援への思いは当時からの私の夢でもあるのです。農工大にあれば何か新しいことに出会える、何か新しいことが始められる。そして何かやりたいという思いを応援する農工大TLOという会社がある。そのことを多くの方々に知っていただければ幸いです。



伊藤社長を囲んで、農工大TLOスタッフのみなさん

# 『第2期中期目標期間』が始まりました。

平成16年度の国立大学法人化以降、東京農工大学は、自ら作成した原案に基づく文部科学大臣提示による6年間の「中期目標」及びこれを達成するための「中期計画」により経営することになっております。この中期目標・中期計画は、本学が果たすべき使命や目指すべき将来像を具体化したものであります。

平成22年4月から、本学は、基本理念「MORE SENSE」に基づき、使命を果たすべく『研究大学としての地位確立』を目指して第2期中期目標期間（平成22～27年度）のスタートをきりました。

「東京農工大学ビジョン」を実現するため、自ら掲げた中期目標・中期計画の達成に向けて取組み、今後の一段の飛躍を期すこととしております。なお、下記は学生支援に関する取組をイメージしたものです。その詳細を含めて、その他多くの取組については、本学Webページ（下記URL）に掲載しておりますので是非ご覧下さい。なお、上記の「東京農工大学ビジョン」についても同Webページに掲載しております。

「中期目標・中期計画」掲載ページ

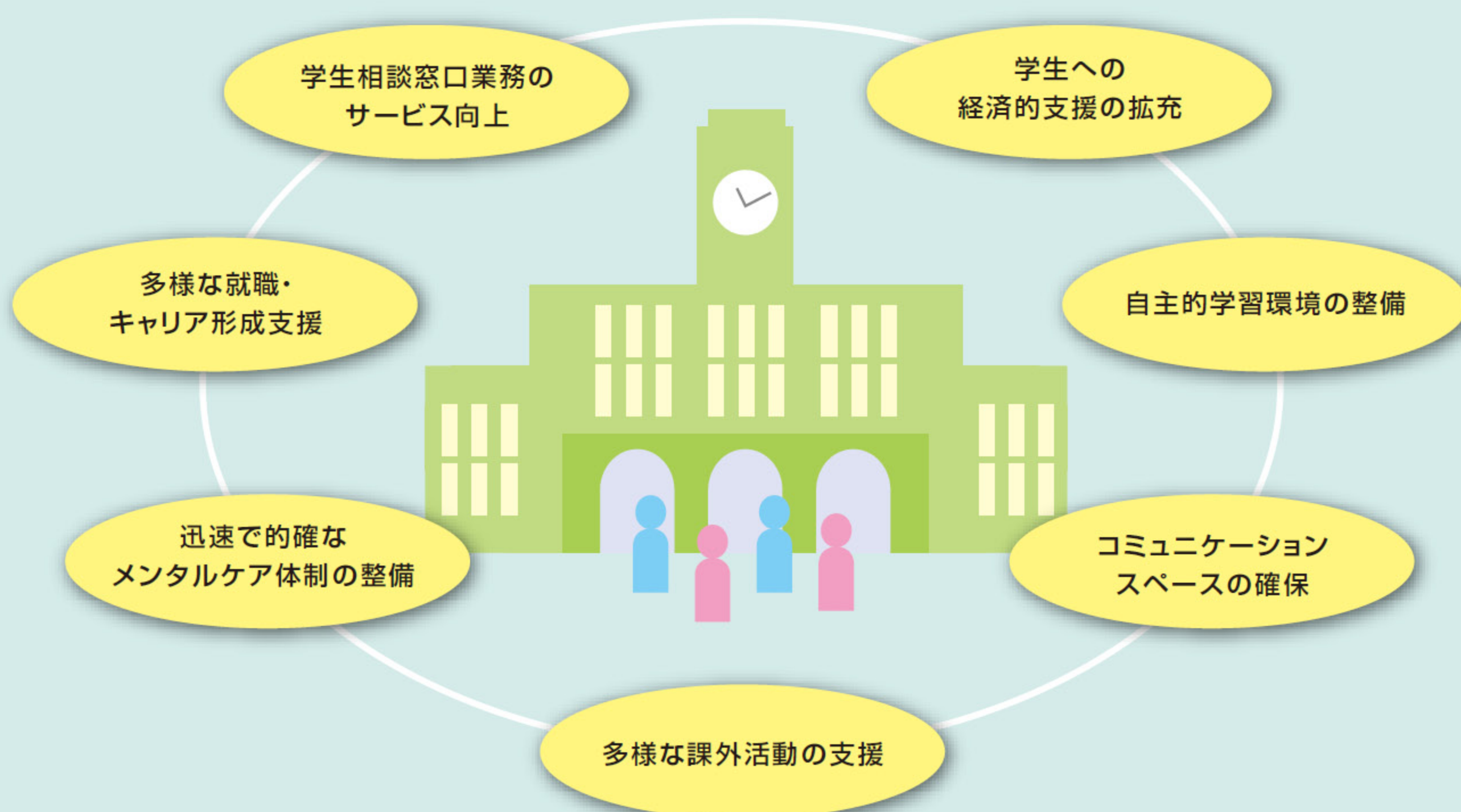
[http://www.tuat.ac.jp/outline/kei\\_hyou/cyuuki\\_20100401/index.htm](http://www.tuat.ac.jp/outline/kei_hyou/cyuuki_20100401/index.htm)

（上記Webページは、本学Webにて「[大学概要](#)→[計画・評価](#)→[中期目標・中期計画](#)」と進んでいただいてもご覧いただけます。）

## —— 学生支援に関する中期目標 ——

ワンストップ・サービスによる  
組織的な学習・生活支援を実施する。

## 目標実現のための様々な学生支援に関する取組 (中期計画)



ネット販売対象商品



原酒 米焼酎(つぼ入り)



原酒 麦焼酎(つぼ入り)



米焼酎



芋焼酎



麦焼酎

商品種類	度数	容量	販売価格(税込)
原酒 米焼酎(つぼ入り)	43度	720ml	2,700円
原酒 麦焼酎(つぼ入り)	43度	720ml	2,700円
米焼酎	25度	720ml	1,700円
芋焼酎	25度	720ml	1,700円
麦焼酎	25度	720ml	1,700円
米・芋・麦 3種セット (セット用化粧箱入り)	各25度	720ml×3	5,100円

# 農工大ブランド焼酎

本学では、農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター(FSセンター)で

栽培した原料(米・芋・麦)で焼酎「賞典緑(しょうてんろく)」を製造・販売しています。

保護者の方をはじめ、多くの方に味わっていただけるようインターネットによる販売も行っています。

配送先1カ所につき5,000円以上ご注文の場合には

送料を無料にさせていただきます。

代金の支払方法は、代金引換かクレジットカードになります。

詳しくは下記URLをご覧ください。

**おすすめ**  
米焼酎と麦焼酎については、それぞれ原酒をご用意しております。原酒は焼酎の個性そのものが凝縮されていてレギュラー焼酎とはまた一味違う魅力がありますので是非お試しください。  
(芋の原酒も今後発売する予定です。)

ネットショップサイト

<http://www2.enekoshop.jp/shop/noukoudai/>

(FSセンターのHPからもご覧いただけます。)

※電話、FAXでのご注文はできませんので、予めご了承ください。

お問い合わせ先

農学部附属広域都市圏フィールドサイエンス教育研究センター事務室 TEL042-367-5812

# キャンパスツアー2010

## 私たちがご案内します。

現役の学生ガイドの案内で、  
武蔵野の緑に恵まれたキャンパス散策を体験してみませんか？  
どなたでも無料で参加できます。



府中キャンパスツアーガイド

### 農学部 府中キャンパス

7/14<sup>水</sup> 22<sup>※木</sup> 26<sup>※月</sup> 29<sup>※木</sup>  
9/15<sup>水</sup> 10/6<sup>水</sup> 13<sup>水</sup> 20<sup>水</sup>

開催時間・対応学科・定員等の詳細は、  
本学ホームページ(<http://www.tuat.ac.jp/admission/opencampus/tour/index.html>)をご覧ください。



小金井キャンパスツアーガイド

### 工学部 小金井キャンパス

7/10<sup>土</sup> 21<sup>※水</sup> 23<sup>※金</sup> 27<sup>※火</sup> 30<sup>※金</sup>  
9/8<sup>水</sup> 10/27<sup>水</sup>

※印は夏休み学科別ツアー

## 大学からのお知らせ

### 東京農工大学創基140周年・同窓会創立50周年合同記念事業

— 地球をまわそう農工大記念プロジェクト —

東京農工大学は、平成26(2014)年に創基140周年を、平成24(2012)年には同窓会創立50周年を、それぞれ迎えることとなります。この記念すべき時期に、本学の更なる発展を期するため、「東京農工大学創基140周年・同窓会創立50周年合同記念事業」—地球をまわそう農工大記念プロジェクト—を実施しています。  
詳しくは同封の趣意書をご覧ください。

### 家計急変の場合の奨学金について

日本学生支援機構では、毎年4月に募集する定期採用のほかに、失業、破産、会社の倒産、病気、死亡等または火災、風水害等家計急変のために奨学金を必要とする学生に対して随時募集を受け付ける緊急・応急採用制度があります。奨学金を希望される方は、学生が所属する「学生サポートセンター」にご相談ください。

### お問い合わせ窓口

修学・学生生活の相談等は、クラス担任・学生生活委員等の先生が対応します。次の窓口にお問い合わせください。

お問い合わせ内容	お問い合わせ窓口	電話番号等
○修学に関する質問・相談 履修、成績、卒業、休学、退学 等	府中地区および小金井地区 学生サポートセンター教務係	農学部 042-367-5662 E-mail a-kyomu2@cc.tuat.ac.jp 工学部 042-388-7010 E-mail tkyomu1@cc.tuat.ac.jp
○学生生活に関する質問・相談 就職、奨学金、授業料免除、 災害傷害保険、ハラスメント 等	府中地区および小金井地区 学生サポートセンター学生生活係	農学部 042-367-5579 E-mail a-gksei@cc.tuat.ac.jp 工学部 042-388-7011 E-mail tkkousei@cc.tuat.ac.jp
○健康相談・精神保健相談 等	保健管理センター	府中地区 042-367-5548 小金井地区 042-388-7171

### 住所変更をされた ご父母の方へ

本誌は、平成22年5月現在、大学に登録されている「学生の保証人住所」に郵送しております。住所変更の手続きは、学生本人が所属学部・学府等に出向き、届出を行わなければなりません。まだ住所変更を届けていない方は、お子様(保証している学生)に手続きを行うようご指導願います。

●大学WEBサイト案内／本学最新情報は大学WEBサイト(<http://www.tuat.ac.jp/>)に随時掲載していますので、是非ご覧ください。